

長門市制施行50周年記念事業 仙崎出身の日本画家「松尾晚翠展」

市制施行50周年記念事業の一環として、大正時代に活躍した仙崎出身の日本画家、松尾晚翠の作品展「松尾晚翠展」が3月26日から4月7日までルネッサなごとの文化情報ギャラリーで開催されました。

初日のオープニングセレモニーには晩翠の親族や松林市長ら約150人が出席。晩翠の親族を代表して孫の松尾隆さんが「大きな供養をしていただいた気がします。祖父も喜んでいことでしょう」と感

謝の言葉を述べました。

この作品展には晩翠の作品約200点のほか、晩翠の生涯を解説したパネルなどが展示されました。



がんばれあぶさん! あぶらやサポーター発足

長門市出身の油谷繁選手を応援しようと、4月19日、長門商工会議所青年部が「あぶらやサポーター」を発足させました。今後、サポーターを募集し、応援イベントなどを開催していく予定です。



海底で不発弾発見 仙崎・白濁漁港

仙崎・白濁漁港

4月4日、仙崎白濁漁港の海底で旧日本軍のものとみられる不発弾47発が発見され、海上自衛隊下関基地隊により回収されました。不発弾は信管が外されており爆発の可能性は低いということです。



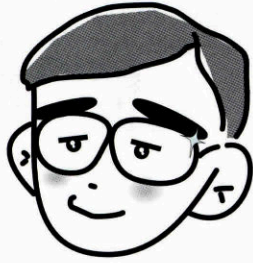
湯本温泉まつり

4月4日、湯本温泉まつりが音信川河川公園で開催されました。ペットボトル競争や宝探しのほか、地元の子どもたちによる「子どもみこし」が温泉街を練り歩き、祭に花を添えました。



ながと日記 ばーと46

長門市長 松林正俊



50年を振り返る

●自立期●
(S.49~58)

3月31日、長門市制施行50周年記念式典をルネッサなごとで開催しました。市政発展に功績のあった方々への表彰をはじめ、市内小・中学生による50周年記念作文の朗読、「長門市民の歌」の合唱などで、長門市の50歳の誕生日をお祝いしました。

さて昭和49年、長門市は20代に入ると同時に「市民憲章」を制定し、自分たちの目指すべき「まちづくり」の指標を定めます。市民憲章では「子どもの夢をそだて、スポーツに親しみ、文化的でく

ら豊かな、健康で明るい、青い海みどり」と太陽につつまれた美しいまちをつくりましょう」と唱っております。

小・中学校の校舎・体育館や保育園、特別養護老人ホームの建設整備など、教育・福祉の充実に力が注がれ、県道青海島線や都市計画道路路白濁下郷線、堤尻前角線の整備、湊地区の埋め立て造成など、社会資本の充実が図られたのも、この10年間でした。

また、紫津浦養殖場海水導入トンネルや外海漁業栽培センター、そして通地区と湊地区の各漁村センター完成など、産業基盤の整備も進められ、長門ショッピング

ラザも地域商業の中核施設として営業が開始されました。

国内では、山陽新幹線や中国自動車道の全線開通などにより経済のグローバル化も進みます。国際的にも、日中平和友好条約の調印や米中国交正常化など第2次大戦後の総決算的な動きとともに、先進国首脳会議(サミット)の一員として日本は世界のリーダーの仲間入りをします。

高度経済成長の絶頂期を迎えつつあるなか、商業捕鯨の全面禁止がIWC(国際捕鯨委員会)で決定されるなど、日本経済の支柱を揺さぶる外圧も見え隠れし始めた時代ではありましたが、長門市史

の刊行や長門市総合計画の策定にみられるように、長門市も自立に向かって歩んだ10年であったと思います。

